

授業科目 リハビリテーション医学

【担当教員名】 崎村陽子、真柄彰、村岡幹夫、山田謙一 柏森良二、山本智章、林千治、山本通子、佐藤豊	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G10>

リハビリテーションの対象となる疾患の概念およびその障害を理解する。  
各対象疾患の障害に対する検査及び評価法を修得する。  
各対象疾患の障害に対するリハビリテーション治療を理解する。

<行動目標：SBO>

1. リハビリテーション医学の対象となる各疾患の概念を述べる。
2. 各対象疾患の種類を分類できる。
3. 各対象疾患の障害構造と問題点を列記できる。
4. 各対象疾患のリハビリテーションの流れを説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・担当教員
1	脳疾患（A. 脳血管障害）	1, 2, 3, 4	講義：真柄彰
2	脳疾患（B. 脳外傷、C. 低酸素脳症、D. 遷延性意識障害）		講義：崎村陽子
3	脊髄疾患		講義：真柄彰
4	脊髄疾患		講義：真柄彰
5	リウマチとその近縁疾患		講義：村岡幹夫
6	小児疾患		講義：山田謙一
7	神経筋疾患		講義：真柄彰
8	末梢神経障害		講義：柏森良二
9	関節疾患		講義：山本智章
10	外傷		講義：山本智章
11	内部疾患（A. 心疾患、B. 肝臓病）		講義：林千治
12	内部疾患（C. 糖尿病、D. 肥満、E. 高血圧、F. 高脂血症、G. 腎臓病、H. 肝臓病）		講義：山本通子
13	末梢循環障害、切断		講義：真柄彰
14	予備		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	リハビリテーション医学テキスト	三上真弘/石田暉	南江堂	2000年・5300円
参考書				
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する。			

【評価方法】 出席状況、レポート、定期試験により総合的に評価する。	【履修上の留意点】 リハビリテーション概論は医療福祉分野の基本科目中のコアであり、積極的な自己学習が望まれる。 (講義の順番・担当教員は変更になる可能性があります)
--------------------------------------	--

言語聴覚学科 専門